

ある。糖尿病患者の0.3%に生じるとされ、慢性の経過をとる（前頁 MEMO 参照）。

5. 糖尿病性水疱症 diabetic bulla

下腿や指趾に突然、緊満性水疱を生じる。微細血管障害が原因と考えられる。糖尿病患者では知覚が低下しており熱傷を自覚しにくいいため、Ⅱ度熱傷との鑑別が必要となる。

6. Dupuytren 拘縮 Dupuytren contracture ★

同義語：手掌線維腫症（palmar fibromatosis）

両手掌、とくに尺側に生じる索状硬結である。腱膜の増生による深在性の線維腫症である（21章 p.434 参照）。

7. 汎発型環状肉芽腫 generalized granuloma annulare

淡紅色の集簇性充実性丘疹あるいは浸潤性紅斑を生じる（18章 p.348 参照）。耐糖能異常が高率にみられる。

8. 湿疹・皮膚炎および皮膚癢痒症 eczema, dermatitis, pruritus

脂漏部位や間擦部位に好発する。糖尿病管理が不良であると、湿疹・皮膚炎は再燃を繰り返しやすい。また、皮脂低下やドライスキンを呈し、皮膚癢痒症を生じる（8章 p.137 参照）。

9. 日和見感染 opportunistic infection

種々の日和見感染を含めた皮膚感染症がみられ、治りにくい。カンジダ症や白癬、癩腫症、皮下膿瘍、蜂窩織炎、化膿性爪囲炎、壊死性筋膜炎、非 Clostridium 性ガス壊疽など。

10. その他

穿孔性皮膚症（18章 p.343）、ちようめい澄明細胞汗管腫（21章 p.413）、硬化性線維腫（sclerotic fibroma）などがみられることがある。



図 17.31 糖尿病性浮腫性硬化症（diabetic scleroderma）
後頸部の非常に硬い大きな硬化性、板状局面。



図 17.32 リポイド類壊死症（necrobiosis lipoidica）
前脛骨部の不規則で境界明瞭な萎縮性板状局面。